



第 1826 回例会

平成 27 年 4 月 6 日 (月)

18:30~ 花見例会「神田屋」(藤白神社)
お誕生日、結婚記念日のお祝い

- 開会点鐘
- 国歌斉唱 「君が代」
- ロータリーソング 「奉仕の理想」
- 出席報告
会員総数 48 名 出席者数 37 名
出席率 77.08 % 前回修正出席率 70.83 %

5. 会長スピーチ
会長 山東 剛一 君

みなさま、今晚は。今月の夜間例会は慣例でここ藤白神社での花見例会となりました。あいにく桜はほとんど散っていますがまだまだ満開のつもりで今夜のこのひとときを楽しく語りあって会員同士の友好を深めて下さい。宮崎中央RCから頂いた焼酎も届いておりますので飲んでいただきたいと思います。



それから来週は、家族例会で姫路城へのバス旅行です。楽しい行事が続きます。親睦委員会のみなさんのご苦労に感謝いたします。

また、来週の月曜日には 40 周年実行委員会のメンバーを中心に海南市教育委員会に本を持っていく予定になっております。ありがとうございます。

- 幹事報告 幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 和歌山中RC | 4月 10 日 (金) → 4月 10 日 (金) |
| | 19:00~ ルミエール華月殿 |
| 和歌山西RC | 4月 22 日 (水) → 4月 23 日 (木) |
| | 18:00~ 割烹「華新」 |
| 粉河RC | 4月 22 日 (水) → 4月 23 日 (木) |
| | 18:00~ 京料理日月庵(企業訪問)
日帰り家族例会 |

○休会のお知らせ

- | | |
|---------|-------------|
| 粉河RC | 4月 29 日 (水) |
| 有田RC | 4月 30 日 (木) |
| 岩出RC | 4月 30 日 (木) |
| 和歌山城南RC | 4月 30 日 (木) |

7. 閉会点鐘



ニコニコ・BOX

Happy birthday!
4月のお祝い



○会員誕生日

- | | |
|-------------|-------------|
| 4日 林 孝次郎 君 | 15日 山名 正一 君 |
| 18日 篠島 利一 君 | |

○奥様・旦那様誕生日

- | | |
|-------------|--------------|
| 1日 三木 和栄 様 | 4日 土井 富子 様 |
| 15日 上田としゑ 様 | 23日 谷脇 真知子 様 |

○結婚記念日

- | | |
|--------------|-------------|
| 5日 田中 秀夫 君 | 10日 中尾 享平 君 |
| 13日 中西 秀文 君 | 16日 桑添 剛 君 |
| 19日 小久保 好章 君 | 23日 山畠 弥生 君 |
| 26日 宇恵 弘純 君 | 29日 横出 廣 君 |

○一般ニコニコ

- | | |
|---------|---|
| 山東 剛一 君 | 花見例会、たくさんのご出席ありがとうございます。 |
| 中西 秀文 君 | 花見例会を楽しんで下さい。 |
| 小椋 孝一 君 | 高野山の1200年祭に医王寺の関係で行つきました。国道370号線が整備され、近くになりました。 |
| 山田 裕之 君 | 今日、県外に行っていましたので、遅れると思い、重光さんにSAAを頼んでいたのですが、早く帰つくることができました。 |

次回例会

第 1827 回例会 平成 27 年 4 月 12 日 (日)
家族例会 姫路方面

4月は雑誌月間です
(Magazine Month)

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- | | |
|----------|----------------|
| ①眞実かどうか | ③好意と友情を深められるか |
| ②みんなに公平か | ④みんなのためになるかどうか |



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：山東 剛一 幹事：中西 秀文 SAA：山田 裕之



ロータリーの雑誌を分かち合おう

4月のR I 会長メッセージ 黄其光 (Gary C. K. Huang)

親愛なるロータリアンの皆さん、今日、コミュニケーションをとる方法は、かつてないほどたくさんあります。テレビ会議やインスタントメッセージの時代において、私たちは、おおむねどこにいても共に活動することができます。また、ロータリーの活動をフェイスブック、ツイッター、国際ロータリーのウェブサイトで知らせ合って、常に連絡を取り合うことができます。しかし、皆さんがあなたに今、手に持っている、あるいは電子端末で読んでいる雑誌は、これからもとても大切な役割を担い続けていくことでしょう。

多数のノーベル賞、ピュリツァー賞受賞者が執筆

『The Rotarian』は、世界で最も古くから出版されている雑誌の一つで、1911年、ポール・ハリスの寄稿文を特集して創刊し、以来、休刊することなく出版されています。当時、その雑誌はモノクロ印刷で、ほんの数ページのものでした。活字は小さく、写真もほとんどなく、広告はピアノ業者や紳士用品店、そして給水・給湯が完備されたホテル1軒でした。

現在、『The Rotarian』はスマートフォンやタブレットで読むことができ、地域雑誌は24の言語で発行されています。この雑誌にはデズモンド・ツツ、ジョージ・バーナード・ショー、ニコラス・マレー・バトラーをはじめとする17人のノーベル賞受賞者、19人のピュリツァー賞受賞者が執筆しています。毎月、『The Rotarian』は、ロータリー世界の最良の寸描を私たちに届けてくれます。それは絆であり、楽しみであり、啓蒙（けいもう）であり、刺激あります。

今の時代の雑誌の役割

恒常に通信が行われ、新たな情報を得る手段がいくらでもある時代に、今なおロータリーの雑誌は必要なのでしょうか？ 絶対に必要です。それは雑誌がこれまでそうだったように、今なおロータリーについての言葉を広めるのに最も良い方法の一つだからです。雑誌は私が数々のロータリーデーの楽しさや興奮を皆さんと分かち合うことを可能にし、世界中のロータリアンの素晴らしい活動を掲載し、私たち全員に関係のある重要な問題に焦点を当てます。『The Rotarian』はロータリアンだけが楽しめるものではなく、ロータリーの公共イメージを広め、ロータリアンが行う活動を世界に示す素晴らしい方法なのです。



ですから、この号を皆さんのが読み終えたら、誰かに差し上げてください。今月号の記事に、特に興味を持ちそうな人は誰かを考えてみてください。友達、仕事仲間、同僚に渡しましょう。ロータリークラブの例会に誘ったことがある人と分かち合ってください。www.therotarianmagazine.com を訪れて、ソーシャルメディアで話を分かち合い、Eメールでリンクを送りましょう。ロータリアンが100年以上続けてきたように、ロータリーに輝きを与えるために利用しましょう。

国連とロータリー

世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）のパートナーとして国連と協力を続けてきたロータリーは、国連でも馴染みの存在となりました。協力の結果、GPEI発足以来、ポリオ感染数は99%減少しています。過去30年間、歴代のロータリー代表者たちの取り組みによって、国連やその所属機関、またアラブ連盟や欧州連合といった国際機関との関係が強化されてきました。また、これによりロータリーへの認知度も高まり、世界中に協力ネットワークが拡大しました。3年前の米州機構（OAS）関係者との面会では、識字能力の推奨要件が検討され、OAS所属国での読み書き能力の向上法に関する発表がロータリー代表者によって行われました。その後エクアドルでは、OASからのサポートとロータリーからの補助金を利用した、識字率向上を目標とする教師研修が実施されています。



「エクアドルを訪れて副大統領と面会したのですが、その方もロータリアンでした」と話すのは、OASへのロータリー代表を務めるRichard Carson氏です。また、国連への元ロータリー代表であるJoseph Laureni氏は、「会合に出席するだけでも、信頼性の向上につながる」と述べ、ロータリーが名前だけの存在でなく、活動現場で実質的に変化をもたらす人の集まりであることを強調します。

同じく国連への元ロータリー代表であるBradley Jenkins氏は、ロータリー全体の貢献について次のように述べます。「たとえば、約8,000のロータリークラブが取り組んでいる水プロジェクトや、ロータリー平和フェローの育成などの取り組みについて、ロータリー代表者たちはあらゆる機関の会合で紹介しています」